

養基小学校沿革

明治6年沓井薬師寺に『修道学校』として開校し（校区は沓井、粕ヶ原、田中、脛永、宮地、段、舟子、子牛、般若畑の9村）、明治10年には宮地村に学校ができ宮地の5村は分かれた。

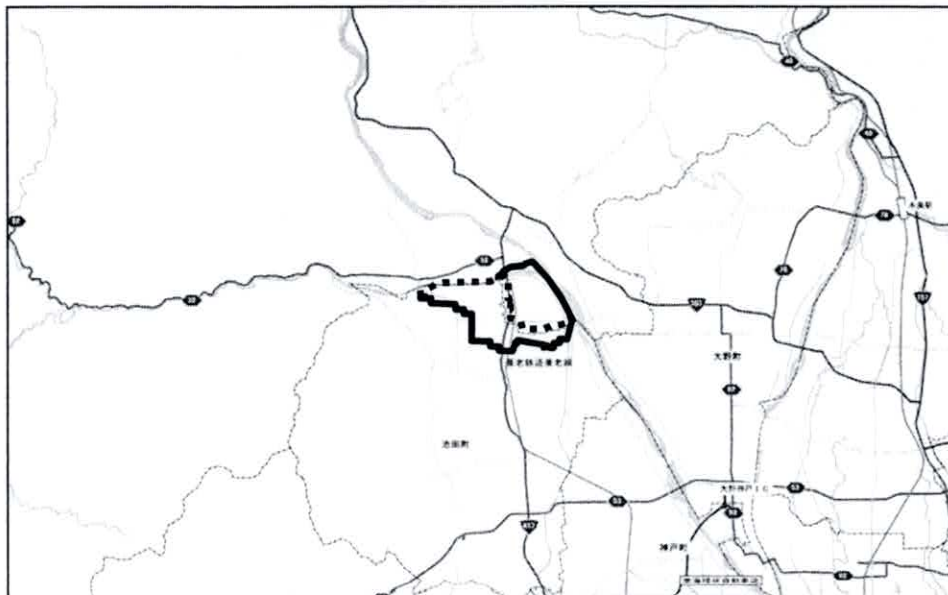
その後、明治10年『沓井学校』、明治26年『修道尋常小学校』、明治31年『養基村立養基尋常小学校』に改称され、大正11年には高等科が置かれ『養基尋常高等小学校』に改称された。

昭和16年『養基国民学校』、昭和22年『養基村立養基小学校』に改称された後、昭和31年に養基村が池田町、揖斐川町に分村合併し、『養基小学校養基保育所組合立養基小学校』となった。

昭和44年に新校舎が完成し、昭和46年（第2期）、昭和55年（第3期）の増築を経て、昭和59年には体育館が完成した。

平成8年には現在のプールが完成し、平成19年から平成21年にかけて校舎の耐震及び大規模改修が完了し、令和5年には開校150周年をむかえ、航空写真の撮影など記念行事が行われた。

通学区域



公立保育園のあり方について

○園児数推移

園名\年度	建設 定員	利用定員 R7.4.1現在	R7年度		R8年度		R9年度		R10年度		R11年度	
			広域入 所者数		広域入 所者数		広域入 所者数		広域入 所者数		広域入 所者数	
宮地保育園	80	30	(1)	19		17		16		15		14
温知保育園	180	180	(2)	120		107		103		100		95
西保育園	210	70		37		34		32		31		30
養基保育園 (うち脛永の園児)	110	90	(2)	57 (22)		50 (20)		47 (18)		44 (16)		40 (14)
公立保育園園児数				211		188		180		174		165
池田こども園	120	90	(21)	90	(18)	80	(18)	78	(17)	75	(16)	71
八幡こども園	108	50	(16)	45	(13)	40	(13)	38	(11)	35	(9)	31
市橋保育園	90	60	(13)	58	(11)	51	(11)	50	(8)	46	(6)	42
片山保育園	100	80	(7)	80	(7)	74	(7)	71	(8)	69	(9)	68
池田町在住の園児数合計				422		384		368		355		337
園児数(脛永・広域入所含む)合計				506		453		435		415		391

○統廃合案

- ・小学校の統廃合に合わせる。(令和12年度または令和13年度)
- ・小規模保育園 → 大規模小学校 または 大規模保育園 → 小規模小学校 と
ならないようにする。
- ・施設の定員を超えないように、児童数の受け入れを行いながら統廃合を進めていく。
- ・施設の立地及び整備の状況。

○課題

- ・跡地の利用方法
- ・通園バス
- ・公立保育園と私立認定こども園、私立幼稚園のあり方